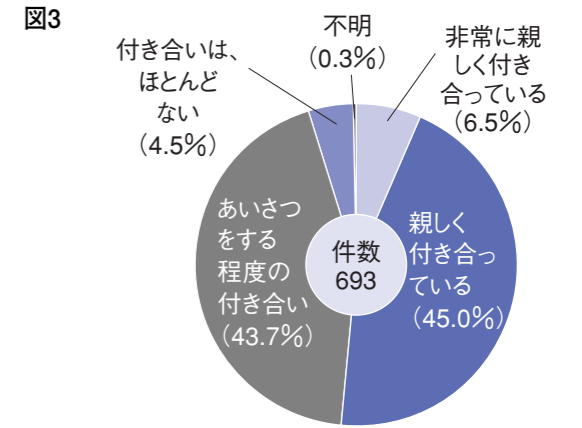


近所との関わり

近所の付き合いについては、「親しく付き合っている」と答える人が半数以上を占め、「あいさつをする程度」も含めると近所付き合いの状況は良好だといえます(図3)。

しかし、付き合いのない人もいました。こうした層にどのように働き掛けるかが課題になりそうです。

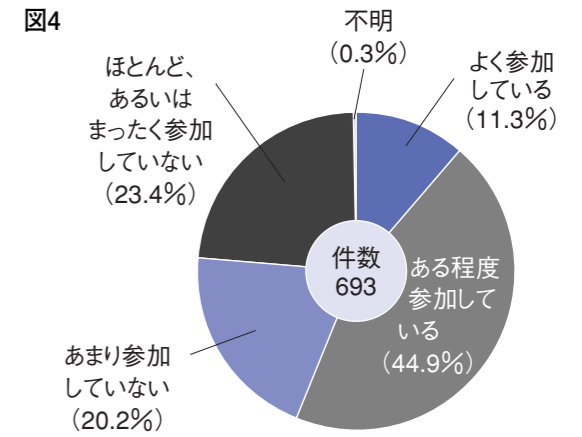
町内会・自治会・区などの活動への参加状況を聞いたところ、「ある程度参加している」という人が多く、総じて活発な参加



NPO・ボランティア活動の参加経験・参加希望

今後は参加したい人が大きく増加し、活動の幅も広がること期待されます。特に、災害救援の伸びが大きく、災害時における地域の結束が大変重要であるという認識が定着しつつあるといえます(図5)。

状況だといえますが、「ほとんど、あるいはまったく参加していない」という人も少なくなく、先ほどの付き合いのない人と合わせて何らかの働き掛けが必要だといえます(図4)。



今回は概要を掲載しましたが、詳細は「地域福祉に関する意識調査結果報告書」でご覧いただけます。報告書は、各総合支所健康福祉課窓口か、市ホームページにてご覧ください。 ■問い合わせ 健康福祉部社会福祉課福祉総務係 TEL81・0716

福祉のまちづくりに向けた市民参加の取り組みがスタート

地域福祉計画に広く市民の意見・提案などを取り入れるための「安曇野市福祉のまちづくり検討会」の第1回の全体会が12月9日、穂高会館で行われました。

この日は、市が実施した「地域福祉に関する意識調査」の結果や検討会の目的、進め方などの説明があったほか、「共に生きる福祉のまちづくり」と題して、長野大学社会福祉学部教授の合津文雄さんによる地域福祉計画の策定の意義や安曇野市が目指す方向性についての講演も行われました。講演の中で合津さんは、「地域福祉計画づくりを通して今までのまちを点検し、これからは自分たちの住む地域の福祉は自分たちで築こうという考え方が必要になる。地域福祉でまちづくりを進めていきましょう」と話しました。



合津教授の講演を聞き、地域福祉計画について理解を深める。

安曇野市地域福祉計画 現在検討中

平成18年度、安曇野市地域福祉計画は、市民、社会福祉団体、有識者等から構成される「策定委員会」と地域生活に関わる市役所内の各部署と安曇野市社会福祉協議会より構成される「庁内調整会議」において、策定に向けて取り組みを進めてきました。

そして、平成18年12月に今後の安曇野市の地域福祉を考える、市民主体による「福祉のまちづくり検討会」が始まりました。今後は、この三者による検討を中心に据えながら、計画をつくっていきます。策定経過や計画の内容については、随時、広報やホームページを通じて市民の皆さんに情報提供を行います。計画へのご意見、ご要望お待ちしております。

■問い合わせ 健康福祉部社会福祉課福祉総務係

(TEL 81・0716)



第1回福祉のまちづくり検討会(全体会)の様子